

## 令和4年度における一宮川水系流域治水に関する課題について

**1. 全体**

- ・ 流域治水に関するマスタープランを策定する。
- ・ 特定都市河川浸水被害対策法の活用について検討する。

**2. 市町村個別****(1) 茂原市**

- ・ 今年度の出水期を控え、早期の治水効果の発現を図る。
- ・ 河川改修後も内水氾濫が残余するため、家屋の浸水被害を解消するため、内水対策メニューの組合せを整理する必要がある。
- ・ 内水対策の一環として、昨年度、田んぼダムの試験施工を行っており、引き続きデータを蓄積・分析するとともに、市全域への拡大を図る。
- ・ 内水対策の一環として、各家庭の雨水貯留浸透施設への補助金交付を行っているが、当該制度の周知及び活用を図る。
- ・ ポンプなどのハード整備、雨水貯留対策の推進に加え、開発行為における貯留施設義務の強化や防災集団移転、立地適正化計画や災害危険区域による建築規制など土地利用政策も含めて、流域治水に対する取組み方針としている。

**(2) 一宮町**

- ・ 内水対策として、既存ポンプ場の大規模更新を行っている。
- ・ 中上流域における河川整備による下流域への影響を確認する必要がある。
- ・ 個別の取組として、まずは、住民への広報啓発を図る。

**(3) 睦沢町**

- ・ 中上流域における河川整備による下流域への影響を確認する必要がある。
- ・ 個別の取組として、まずは、住民への広報啓発を図る。

**(4) 長生村**

- ・ 中上流域における河川整備による下流域への影響を確認する必要がある。
- ・ 個別の取組として、まずは、住民への広報啓発を図る。

#### (5) 長柄町

- ・ 県が行う輪中堤等と併せて、地域ごとに合意をいただきながら、町条例に基づく浸水警戒区域を指定する。
- ・ 水上川における家屋等の被害を助長しない範囲で中下流への流出を遅らせる対策や耕作放棄地を活用した雨水貯留対策について検討する。(水上川上流端の長南町と連携)

#### (6) 長南町

- ・ 県が行う輪中堤等と併せて、地域ごとに合意をいただきながら、町条例に基づく浸水警戒区域を指定する。